

製品名: KALIG-1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab12890**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300
分子量	76kDa

抗原情報

遺伝子名	KAL1
別名	KAL1; ADMLX; KAL; KALIG1; Anosmin-1; Adhesion molecule-like X-linked; Kallmann syndrome protein
遺伝子 ID	3730.0
SwissProt ID	P23352
免疫原	抗血清はヒト KAL1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 151-200

背景

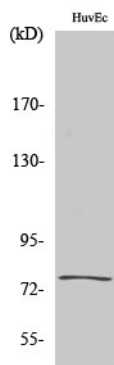
この遺伝子の変異は、X連鎖性カルマン症候群を引き起こす。コードされているタンパク質は、神経細胞接着および軸索移動に機能す

ることが知られているタンパク質と配列が類似している。さらに、この細胞表面タンパク質は N-グリコシル化されており、抗プロテアーゼ活性を有する可能性がある。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]、疾患：KAL1 の欠陥は、カルマン症候群 1 型 (KAL1) [MIM:308700]の原因である。低ゴナドトロピン性性腺機能低下症および嗅覚喪失症としても知られる。嗅覚喪失症または嗅覚低下症は、嗅球および嗅索の欠損または低形成に関連している。性腺機能低下症は、ゴナドトロピン放出ホルモンの欠乏に起因し、おそらくゴナドトロピン放出ホルモン合成ニューロンの胚期における移動障害に起因する。一部の患者では、腎無形成症、口唇裂・口蓋裂、選択的歯無形成症、両手共同運動などの他の発達異常が認められる場合があります。また、嗅覚障害が認められない、あるいは目立たない場合もあります。機能：抗プロテアーゼ活性を有する接着様分子である可能性があります。PTM：N-グリコシル化されています。類似性：1つのWAPドメインを含みます。類似性：4つのフィブロネクチンIII型ドメインを含みます。、

研究分野

-

画像データ



KALIG-1 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析